

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

<p>①チーム名 (呼称)</p>	<p><u>青梅市家庭教育支援チーム</u> (呼称:特定非営利活動法人青梅こども未来) ホームページ: <a href="http://kodomomirai-ome.com/index.html">http://kodomomirai-ome.com/index.html</a> ブログ: <a href="http://blog.kodomomirai-ome.com">http://blog.kodomomirai-ome.com</a> Facebook: <a href="https://www.facebook.com/kodomomiraiome">https://www.facebook.com/kodomomiraiome</a> Instagram: <a href="https://www.instagram.com/kodomomirai.ome/?hl=ja">https://www.instagram.com/kodomomirai.ome/?hl=ja</a> YouTube: <a href="https://www.youtube.com/channel/UCsY89dlE-9grJJQHofYhBRw/videos">https://www.youtube.com/channel/UCsY89dlE-9grJJQHofYhBRw/videos</a></p>
<p>②活動拠点</p>	<p>青梅こども未来館・青梅市子育て支援センター“はぐはぐ” 青梅市子育てひろば“おひさま”“にこにこ”・青梅市内市民センター 他</p>
<p>③活動範囲</p>	<p>東京都・埼玉県・神奈川県 等</p>
<p>④組織体制</p>	<p><u>53 人</u> 教員免許【小・中・高各種、養護、学校司書等】30人、幼稚園教諭 16人、 保育士 15人、社会福祉士 1人、乳幼児メディアアドバイザー1人、 子育て支援員【基本型・地域型・特定型】14人、離乳食インストラクター1人、 おもちゃコンサルタント・おもちゃコンサルタントマスター12人 おもちゃインストラクター27人、木育インストラクター3人、 病児プレイリーダー1人、アクティビティディレクター・インストラクター3人、 ネーチャーゲームリーダー1人、CAP スペシャリスト 6人、 BP・BP2ファシリテーター10人、わらべ歌ベビーマッサージ講師 3人、 ホームヘルパー2級 3人、身体障害者移動介助従事者 1人、 NPJ 認定ファシリテーター1人、 他、多数の専門資格者が在籍</p>
<p>⑤活動開始年度</p>	<p><u>2015年度</u> (特定非営利活動法人の認証2002年11月)</p>
<p>⑥問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等) 青梅こども未来 代表理事 横手多喜子 (TEL)0428-25-2578 (E-mail) <a href="mailto:info@kodomomirai-ome.com">info@kodomomirai-ome.com</a></p>

(2) 活動内容について

<p><b>①活動形態</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供  <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり  <input type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)  <input checked="" type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)</li> <li><input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)</li> <li><input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)</li> </ul> <input type="checkbox"/>その他( )</p>
<p><b>②活動対象</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年)  <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>
<p><b>③活動内容</b></p>	<p><b>【具体的な活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児親子・子ども達のための居場所及び多世代交流の場→「青梅こども未来館」の開設</li> <li>・乳幼児親子や子ども達の為の居場所づくり→市内の子育て支援センター・子育て広場を青梅市から受託運営</li> <li>・青梅市内小学校の放課後子ども教室推進事業「タやけランド」にコーディネーターとスタッフを派遣</li> <li>・青梅市との協働による「家庭教育講演会」の実施(年3回)</li> <li>・子育て仲間づくりができる各種ワークショップ→BP プログラム、月齢・年齢ごとの親子教室を青梅市より受託し親子に提供</li> <li>・青梅市市民提案協働事業による「BP2 プログラム」(就学前の幼児と生後2ヵ月～5ヵ月の第2子以降を育てている母親対象のピアサポート的子育て講座)の実施</li> <li>・青梅市子ども家庭支援課との協働事業「集まれ！0・1・2・3 ちびっこ☆ランド」(0～3歳児親子対象の参加体験イベント)を毎年開催</li> <li>・市内小学校 PTA 運営委員会時の集団託児を受託</li> <li>・年長児から中学生までの放課後の居場所「Vivo くらぶ」を通年開催し、学習サポートや集団での遊びを大事にしている</li> <li>・支援が必要な子ども達の為の放課後の居場所→仲間づくり・学習サポート・遊びの場の運営</li> <li>・「親子の絆づくり」を目的にわらべうたベビーマッサージ教室を「青梅こども未来館」で定期開催</li> <li>・趣味や余暇を楽しめる各種サロン→ストレッチ・手作り楽器の音楽教室・出張絵本屋・おもちゃ屋・アート講座などを「青梅こども未来館」で実施</li> <li>・子ども達の健康な体作りを目的とした「飛ぶ教室」の通年開催</li> <li>・障がいのある子どもや育てにくいと感じる親子のサポート→子育て広場等における場面面接等</li> <li>・CAP(子どもへの暴力防止・人権教育プログラム)ワークショップを小学校で実施</li> <li>・市立病院小児科病棟での「病児のためのおもちゃの広場」開催</li> <li>・市主催のオリンピック・パラリンピック関連イベント及び他団体の記念イベントでの「遊びの広場」プロデュースと実施</li> <li>・子育て・子育て関連従事者の啓発事業への講師派遣→市内保育園・幼稚園連盟・企業での「遊び」講座</li> <li>・ホームページ・ブログ・フェイスブック・インスタグラム・YouTubeおよびニュースレターによる市内全域、広範囲への活動内容の周知・情報提供</li> <li>・多様な行政関連主催の委員会に委員として会議に出席するスタッフが多数</li> <li>・「子育てしやすく、子どもたちの笑顔を守る街づくり」を目指し、青梅市内の子ども関連 NPO 法人に呼びかけ「青梅市子ども関連 NPO 団体連絡協議会」を設立。情報を共有し連携しながら市への子育て施策提言等を行っていく予定。</li> </ul>



**④活動の成果**  
(活動実績がある  
場合)

《この街で子育て出来て良かった！と思える街づくり》を目標に活動しています。子どもが本来持っている自ら育とうとする力を引き出し、その力に寄り添って応援する“子育て応援”や、子どもを育て見守る保護者を内と外から支え応援する“子育て支援”をしています。すべての子どもたちが安心して自信をもって自由に生きることができる社会を目指しています。

そんな私たちが運営する子育てひろばや親子教室が、保護者同士のつながりを作れる場になっており、教室などの終了後も親子での付き合いが続いているという声が多数あります。

また、児童館の無い青梅市では、この子育てひろばが子どもたちにとって、スタッフが見守る中、安心して遊べる貴重な場所となっています。

出産直後より0歳～小中高生ままでを対象とした事業・教室やサークルの運営により年齢の途切れの無い支援を行うことができ、またスタッフが情報を共有し寄り添い続けることで、長期的な親子の応援・支援が可能になっています。

コロナ禍でのこの1年は、これまで大切にしてきた「会って・話して・触れ合って」の活動が難しくなる中、事業ごとに作成している「感染予防マニュアルの実践の徹底、SNSによる情報発信の充実、オンラインによる講座の開催等、乳幼児親子・子どもたち・女性たちの元気と笑顔を守り、自分たちも委縮することなく活動を続けていきたいとの思いで、スタッフ一同、力を合わせています。

**⑤活動財源**  
(複数チェック可能)

- 文部科学省補助事業(事業名: )
- 文部科学省委託事業(事業名: )
- 厚生労働省事業(事業名: )
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施  
( )